

勉強会・イベント・学会のお知らせ

7/27
[SUN]

イベント

あきゅぱんフェス(文化祭)

会場：北海道鍼灸専門学校

詳細が決まりましたら学校ホームページ・SNSで配信させていただきます

8/24
[SUN]

勉強会

経絡治療学会 北海道部会

講師：大上 勝行 先生(徳島県鍼灸師会副会長)

会場：北海道鍼灸専門学校

お問い合わせ：北海道鍼灸専門学校 志田(教員)

8/30・31
[SAT] [SUN]

イベント

はり師及びきゅう師
臨床実習指導者講習会

会場：北海道鍼灸専門学校

9/27・28
[SAT] [SUN]

学会

日本養生普及協会全国大会

講師：伊藤 和憲 先生

会場：北海道文教大学

10/5
[SUN]

勉強会

長野式鍼灸セミナー

講師：大野 倫史 先生

(長野式臨床研究会副代表、
東京支部長、北海道支部長)

会場：北海道鍼灸専門学校

お問い合わせ：北海道鍼灸専門学校 煤質(教員)

11/16
[SUN]10/25・26
[SAT] [SUN]

勉強会

アキュゾーンセラピーの実際

講師：小松 武史 先生

(カリフォルニアスポーツ医学センター代表)

会場：北海道鍼灸専門学校

お問い合わせ：北海道鍼灸専門学校 川浪(教員)

11/2
[SUN]

勉強会

北海道鍼灸専門学校 学術講演会(予定)

講師：未定

会場：北海道鍼灸専門学校

詳細が決まりましたら改めてご案内させていただきます。

卒業生紹介



田中 紗綾 さん

(昼間部21期生 2024年卒業)

皿-なぎ はりきゅう

はり師／きゅう師／助産師／
看護師

こんにちは。昼間部21期生の田中紗綾です。

鍼灸師として2年目になりました。前職は18年間、助産師・看護師として働いてきました。現場での忙しさや優先順位などにより、ゆっくり患者さんと向き合う時間が取れずもどかしく働いていました。しかし、そんな思いがあったからこそ鍼灸師という職業に魅力を感じ、一瞬で転職を心に決めることができたと思います。また自身の子どもが幼稚園に通う期間と同時期に学生生活を送ることができたので、ゆっくりと子どもと向き合い関われたのもとても良かったように思います。

鍼灸の受療率は低く、第一選択にならないのが現状です。その反面、最後の切り札的に鍼灸に出会う方が多いように感じております(自身もそうでした)。ですが、もっと身近に鍼灸がある生活・環境があれば、選択肢として早い段階で身体を整えることができると考えております。私にとって『鍼灸』は、まさしく人生を変えるものでした。そんな人生を変えるような体験・感覚を多くの人に届けることで、多くの人に鍼と出会って欲しいと考え、現在はマルシェやイベントに参加し鍼灸を身近に感じてもらえるように活動しています。

今年の春から『皿-なぎ』をオープンし、少しずつですが自分の目標とする生活や働き方に近づいています。人生において大切なものが何かを考え、大切にする人生を鍼灸と出会えたことで得ることができたと感じております。

自分が人生において関わることでできる範囲の人に、穏やかな時間を届けられるような鍼灸師を目指して、自分のできることをコツコツ続けていきたいと考えております。

ご一読ありがとうございました。



北海道鍼灸専門学校同窓会

同窓会だより

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条6丁目5-10

TEL.011-642-5051 FAX.011-614-3478

URL.https://www.shinkyu.ac.jp

会長挨拶



北海道鍼灸専門学校同窓会

会長 金野 淳平

(夜間部20期生)

金野はり灸整骨院

春風が心地よく、桜が美しく咲き誇る季節となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年10月5日(土)札幌ガーデンパレスにて、北海道鍼灸専門学校の創立50周年記念パーティーが盛大に開催されました。この節目となる年を祝うために、在校生、卒業生、教職員が一堂に会し、共に歴史を振り返り、未来に向けての新たな決意を共有しました。パーティーでは感謝状の贈呈に続き特別講演、さらに華やかな祝宴が行われ、参加者たちは楽しいひとときを過ごしました。ご参加いただいた皆さまには、心より感謝申し上げます。皆さまと共にあの日を祝い、懐かしい思い出を語り合えたことは、私たち同窓会にとって貴重なひとときでした。

さて、今年も新しい年度が始まり、令和7年4月5日(土)に北海道鍼灸専門学校の入学式が執り行われました。今年は昼間部25期生30名、夜間部52期生18名が入学し、晴れて新たな門出を迎えました。

昨年は女性の方が多い年でしたが、今年は男女の比率がほぼ半々となりました。また、特に印象的だったのは、例年より年齢の高い方の割合が増えたことです。今年は40代から50代の方々が多く、転職や定年、子育てがひと段落した世代が第2の仕事として鍼灸師を目指す姿が見受けられました。

入学式では、新入生の皆さんの緊張した様子が伝わってきましたが、川浪勝弘校長が教職員を紹介する場面では次第に和やかな雰囲気となりました。新入生の姿を見ていると、自身が鍼灸を志した決意や初心を思い出すようで、感慨深いものがありました。

これから始まる3年間の学びの中で、厳しい局面に直面することもあるかもしれません。しかし、一人も欠けることなく全員が卒業し、鍼灸師として輝かしい未来を築いてくれることを心から願っています。

同窓会では、これからも皆さまとのつながりを大切にし、情報交換や交流の場を提供してまいります。

私たちの母校は、今後も未来の鍼灸師を育成し続け、その伝統と誇りを守り抜いてまいります。どうぞ引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



令和7年度 北海道鍼灸専門学校 入学式にて

北海道鍼灸専門学校同窓会事務局

北海道鍼灸専門学校同窓会 令和5年度10月～令和6年度9月期 事業報告

令和5年12月19日 会計監査総会
令和6年 3月16日 北海道鍼灸専門学校卒業式
令和6年 4月 5日 北海道鍼灸専門学校入学式

事業計画(令和6年度10月～令和7年度9月期)
令和6年12月19日 会計監査総会
令和7年 3月15日 北海道鍼灸専門学校卒業式
令和7年 4月 5日 北海道鍼灸専門学校入学式
令和7年 8月下旬 役員会(新年度計画打ち合わせ)

北海道鍼灸専門学校同窓会 資産内訳

令和6年9月30日現在

現金	103,897		
郵便貯金	3,633,559		
振替口座	0	収入合計	4,735,872
		支出合計	998,416
	3,737,456		3,737,456

(単位:円)

以上の通りご報告申し上げます。

同窓会会員向け 鍼灸賠償責任保険制度のお知らせ

卒業後の同窓生支援の一環として、同窓会会員の皆様に向けた鍼灸賠償保険の取り扱いをご案内致しております。
気胸や折鍼事故など鍼灸業務の遂行中に発生した賠償事故や、施術所内での転倒やベッドからの転落など施設設備の不備が原因による賠償事故のほか、日常生活で起こった不慮の賠償事故にも備えた内容です。

- ＊この鍼灸賠償保険は、北海道では北海道鍼灸専門学校の卒業生(同窓会会員)のみが加入できる商品です。
- ＊個人で加入する場合は掛け金が高くなりますが、同窓会を対象とした団体契約保険であることから掛け金も補償内容もお得になっています。
- ＊柔道整復師の免許をお持ちの方については、柔道整復業務の補償をオプションで追加することもできます。
- ＊補償期間は5月1日から4月末日までの1年間で、中途加入も可能です。

卒業後年数が経っていない方、出張施術を専門に行う方などで、鍼灸賠償保険をお探しの先生は、本商品を選択肢の一つとしてご検討ください。

鍼灸師会等に入会されている方は同様の保険に加入している可能性がありますので、事前にご確認ください。
お問い合わせは、本校事務長 工藤 までお願いいたします。

2025年度あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師 臨床実習指導者講習会に関するお知らせ

8月30日(土)と31日(日)の2日間、本校において(公社)東洋療法学校協会主催による「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師臨床実習指導者講習会」が開催されます。
開催概要は下記の通りです。(詳細は同封の案内をご覧ください)

日 時 2025年 8月30日(土) 9:30～20:00
8月31日(日) 9:00～18:00
※時間は若干の変更の可能性あり

会 場 北海道鍼灸専門学校
定 員 50名(申込先着順)
受講料 一般 45,000円(税込)
推薦 20,000円(税込)

卒業生の方が参加される場合、同窓会より補助金(10,000円)が出ます。
ぜひこの機会にご参加ください。

お申し込み
お問い合わせ

北海道鍼灸専門学校 担当/阿部(教員)

TEL 011-642-5051

e-mail info@shinkyu.ac.jp

お申し込みは
6月9日(月)まで

次の半世紀に向けて

同窓生の皆様、元気にお過ごしでしょうか？

卒後、鍼灸師として患者さんに向き合い医療に日々奮闘され、ご活躍と拝察申し上げます。また東洋医学で学んだ生活スタイルを実践し様々なアプローチで人生にチャレンジされている方もいらっしゃると思います。

北海道鍼灸専門学校は1974年(昭和49年)に創立後、昨年2024年(令和6年)に満50周年を迎えることができ、50周年記念誌の発行と記念パーティーの開催を行い多くの卒業生の皆さまにご参加を賜り感謝申し上げます。開校時には夜間部だけの専門学校として片肺飛行でスタートし、その後法律の箍(たが)が外れることにより2001年に昼間部の設立が可能となりました。今年



理事長 笠井正晴

度(令和7年)の入学生は昼間部25期生、夜間部は52期生となり卒業生の数は1800名を超えるまでになりました。卒後も同期、同窓の方々が様々な情報の交換をされたり、講演会、研究会などを通して交流を続けられていらっしゃることを大変うれしく思っております。学校における授業スタイルもコロナ禍を契機として、対面、座学スタイルから、ICTを利用した授業スタイルが多く取り入れられるようになり、連絡事項等もインターネットを利用したシステムとなっております。

今般は個人情報の開示が厳しくなり、卒業生の皆さまの把握も難しくなっております。同窓会や名簿録なども空欄がみられるようになってきております。当校の25周年記念誌では卒業生の住所録を載せましたが、40周年記念誌では卒業生の期ごとの名前のみ記載し、今回の50周年記念誌では卒業生の方々の名簿は載せておりません。しかしながら、学校としましても卒業生の皆様へ諸医療講演会のご案内や学校行事等を知っていただき鍼灸医療の発展と充実に努めたく思っております。また皆様の貴重な知識や体験を学生に伝承され、サポーターとして温かく見守りご指導をいただきたく思いますのでご協力ご支援をお願い申し上げる次第です。現在、卒業生の多くの方々には学生の夏休みの鍼灸院の実習見学をお引き受けいただき教育のご指導をお願いしております。学校の特別ゼミや授業の非常勤講師としても多大のご貢献を賜っており、この誌面をお借りして御礼申し上げます。

次の50年に向け卒業生の皆様との交流を末永く続けてまいりたいと考えておりますので、学校からのご案内が届いていらっしゃる同期生や同窓生の方々の動向などお分かりになれば、学校へご一報いただけましたら幸甚に存じます。

また、学校が卒業生の皆様のために少しでもお役に立てることや研究会の会場提供希望などがありましたらご相談ください。

最後に、同窓生皆様のご発展とご多幸を祈念申し上げます。

お悔やみ

令和7年1月15日(水) 本校事務長を務められた西嶋淳氏が闘病生活の末に御逝去されました 長年にわたる本校への多大なる御貢献に心より謝意を表すとともに 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

合掌